

専 門 実 践 教 育 訓 練 明 示 書

講座の名称	介護福祉科 I 部													
実施方法	① 通学 (昼間) ・ 夜間 ・ 土日) ② 通信 スクーリング (回数 回)													
指定講座番号	6	4	0	0	9	—	1	5	2	0	0	3	—	0
講座の創設年月日 平成 1 年 2 月 20 日	専門実践教育訓練給付金 対象講座の指定期間 平成 30 年 9 月 30 日まで					過去一 年の講 座実 績	入講者数 (累積) (0 人)					修了者数 (0 人)		
訓練期間	24ヶ月					総訓練時間					2124時間			
1. 教育訓練目標														
①取得目標とする資格の名称、目標レベル						■業務独占資格・名称独占資格 (介護福祉士)								
						□職業実践専門課程 ()								
						□専門職学位 ()								
						教育訓練を通じて取得を目指す上記以外の資格等								
②①に係る資格・試験等の実施機関名称						厚生労働省								
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等						介護福祉士法に定められた要件をみたしていること								
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されている業界と活用状況						介護福祉施設、病院、障害者支援施設等								
2. 教育訓練の内容														
教科 (カリキュラム)						時間			使用教材名					
人間の尊厳と自立						30			人間の理解					
介護における文章・記録A						30								
介護における文章・記録B						30								
人間関係とコミュニケーション						30			人間の理解					
社会の理解①A						30			社会と制度の理解、社会福祉小六法					
社会の理解①B						30			社会と制度の理解、社会福祉小六法					
社会の理解②						30								
昭和期の生活理解						30								
介護の基本 I ①A						30			介護の基本 I					
介護の基本 I ①B						30			介護の基本 I					
介護の基本 I ②						30			介護の基本 I					
介護の基本 II ①A						30			介護の基本 II					
介護の基本 II ①B						30			介護の基本 II					
介護の基本 II ②						30			介護の基本 II					
コミュニケーション技術①						30			コミュニケーション技術					
コミュニケーション技術②						30			コミュニケーション技術					
生活支援技術 I						60			生活支援技術 I					
生活支援技術 II ①A						60			生活支援技術 II					
生活支援技術 II ①B						60			生活支援技術 II					
生活支援技術 II ②A						30			生活支援技術 II					
生活支援技術 II ②B						30			生活支援技術 II					
生活支援技術 III A						30			生活支援技術 III					
生活支援技術 III B						30			生活支援技術 III					
介護過程①						60								
介護過程②A						60								
介護過程②B						30								
介護総合演習①A						30			介護総合演習、社会福祉小六法					
介護総合演習①B						30			介護総合演習、社会福祉小六法					
介護総合演習①						30			介護総合演習、社会福祉小六法					
介護総合演習②						60			介護総合演習、社会福祉小六法					
介護実習 I A						60								

介護実習ⅠB	208	
介護実習Ⅱ	216	
発達と老化の理解①	30	発達と老化の理解
発達と老化の理解②	30	発達と老化の理解
認知症の理解①	30	認知症の理解
認知症の理解②	30	認知症の理解
障害の理解A	30	障害の理解
障害の理解B	30	障害の理解
こころとからだのしくみA	60	こころとからだのしくみ、体のしくみ事典
こころとからだのしくみB	60	こころとからだのしくみ、体のしくみ事典
医療的ケア	50	医療的ケア
医療的ケア演習	30	医療的ケア
湘南総合ゼミ	80	はじめての点字
特別活動①A	60	
特別活動①B	30	
特別活動②A	30	
特別活動②B	30	

3. 受講者となるための要件（この講座を受講するために必要とされている条件など）

①受講するに当たって必要な実務経験等	なし
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準	高等学校卒業以上
③その他	

〔特記事項〕

--

専門実践教育訓練明示書

4. 教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況					
(1) 資格取得状況					
① 前年度の修了者数	43	人			
② ①に係る教育訓練の入講者数	49	人			
③ ②のうち目標資格の受験者数	43	人	受験率(②/①)	87.8	%
④ ③のうち合格者数	43	人	合格率(③/②)	100.0	%
⑤ ②(入講数)のうち就職者数 ※1	40	人			
⑥ ②(入講数)のうち在職者数 ※2	0	人			
<small>※1 前年度の修了者のうち、受講開始時に職に就いていなかった者で終了後に就職した者。 この場合、就職したとは、臨時的な仕事に就職した者は含めない。 ※2 受講開始時に既に職に就いていた者で、卒業後も引き続きその職にある者及び受講開始時に既に職に就いている者で、終了後に別の職に転職した者。</small>					
(2) 受講修了者による講座の評価等					
① 回答者総数	0	人			
② 受講開始時の就業状況等	1 正社員	0			
	2 非正社員、派遣社員	0	人		
	3 その他の就業(自営業等)	0	人		
	4 学生	0	人	②B: 非就業者計 0 人	
	5 求職中	0	人		
	6 その他(主婦、無職等)	0	人		
③ 就業中の受講者による講座の評価	1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ	0	人	③の回答数合計 ※②Aと同数(又はそれ以下) 0 人	
	2 配置転換等により希望の業務に従事できる	0	人		
	3 社内外の評価が高まる	0	人		
	4 円滑な転職に役立つ	0	人		
	5 趣味・教養に役立つ	0	人		
	6 その他の効果	0	人		
	7 特に効果はない	0	人		
④ 就業していない受講者による講座の評価	1 早期に就職できる	0	人	④の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下) 0 人	
	2 希望の職種・業界で就職できる	0	人		
	3 より良い条件(賃金等)で就職できる	0	人		
	4 趣味・教養に役立つ	0	人		
	5 その他の効果	0	人		
	6 特に効果はない	0	人		
⑤ 受講者の就業状況	1 受講中又は受講修了後3か月以内に就職した	0	人	⑤の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下) 0 人	
	2 受講修了後3～6か月以内に就職した	0	人		
	3 受講修了後6～12か月以内に就職した	0	人		
	4 就職していない	0	人		
⑥ 講座の全体評価	1 大変満足	0	人	⑥の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下) 0 人	
	2 おおむね満足	0	人		
	3 どちらとも言えない	0	人		
	4 やや不満	0	人		
	5 大いに不満	0	人		
5. 教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法					
1に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法	定期試験・進級試験(出席率80%以上、得点60%以上で認定)、小テスト・実技試験において測定し到達度を把握する。				
(通信制講座の場合) スクーリングの実施場所、時期、期間・回数					

専 門 実 践 教 育 訓 練 明 示 書

6. 受講効果の把握方法													
(1) 受講認定基準 (6ヶ月ごとの出席率・定期試験・進級試験等の具体的な基準)	出席率が80%以上、定期試験・進級試験において60%以上の得点の者に対して修了を認定する。(本学規則21条)												
(2) 受講認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法	小テストや実技試験等を行い、不十分であると判断した場合個別に指導を行っている。												
(3) 修了認定基準 (出席率・修了認定試験等の具体的な基準)	出席率が80%以上、卒業試験において60%以上の得点の者に対して修了を認定する。(本学規則21条)												
(4) 修了認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法	小テストや実技試験等を行い、不十分であると判断した場合個別に指導を行っている。												
7. 受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法													
(1) 受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法	質問を随時受け付け、希望に応じて個別指導を行っている。												
(2) 受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 <small>(例: 資格取得関連情報や資格関連職種の求人情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況)</small>	受験情報・資格関連の求人情報を掲示板に掲示している 就職ガイダンスの実施等												
8. その他の事項													
指定教育訓練実施者名 及び代表者名	学校法人 彩煌学園 (代表者名: 君嶋 博明)												
住所及び連絡先	神奈川県横浜市戸塚区川上町84-1		TEL 045-820-1329										
施設名称及び施設長名	湘南医療福祉専門学校		(施設長: 君嶋 眞理子)										
住所及び連絡先	神奈川県横浜市戸塚区川上町84-1		TEL 045-820-1329										
苦情受付者	氏名 佐久間 克己 所属 総務部 部長	事務担当者	氏名 森 恵子 所属 総務部 主任										
連絡先	TEL 045-820-1329		連絡先 TEL 045-820-1329										
専門実践教育訓練経費支払い方法 ①一括払い ②分割払い ③両方可能	1. 専門実践教育訓練給付金の対象となる経費 (① + ②)		1,459,820 円										
	① 入学料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)		300,000 円										
	② 受講料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)		1,159,820 円										
	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">第1期</td> <td style="text-align: right;">319,820 円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">第2期</td> <td style="text-align: right;">280,000 円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">第3期</td> <td style="text-align: right;">280,000 円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">第4期</td> <td style="text-align: right;">280,000 円</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">(うち、必須教材費 39,820 円)</td> </tr> </table>		第1期	319,820 円	第2期	280,000 円	第3期	280,000 円	第4期	280,000 円	(うち、必須教材費 39,820 円)		
	第1期	319,820 円											
	第2期	280,000 円											
	第3期	280,000 円											
	第4期	280,000 円											
	(うち、必須教材費 39,820 円)												
	2. 専門実践教育訓練給付金の対象外となる経費 (① + ② + ③ + ④)		526,000 円										
① 任意の教材費(税込額)		円											
② 実習等に伴う交通費・宿泊費(税込額)		円											
③ 施設維持費(税込額)		468,000 円											
④ その他(法人への寄付金、PCの損害保険料、情報誌代) (税込額)		58,000 円											
3. 総額 (1+2) (税込額)		1,985,820 円											